

参加者：公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会（松田様）、横浜市城郷小机地域ケアプラザ（所長 宮原様）、健康福祉局障害自立支援課（福祉給付係長：宇野様・石田様・山岸様）、佐藤経営・総務部長、青木自立支援部長、坂口総務課長、高久総務課員、笹島施設長、利用者代表、利用者家族代表、岩澤生活支援員

1. 開会あいさつ

2. 構成員紹介

松田様：高知から横浜に移り生活をして10年。一地方に行くとなかなかこういった施設がない、あっても実情に伴っていない施設が多い。横浜市はバスや電車等、交通の便が良いところが利点。福祉で働くにあたって現場の声が一番大切と常々思う。

宮原様：城郷小机地ケアプラザ所長。隣接する域地区センターの方が皆様利用されている。地域ケアプラザ横浜市146か所ある。小さなお子様から障害者、高齢者の方と色々な方が利用、そして連携もしている。今後も連携していきたい。

宇野様：横浜市の指定管理を担当。来年度以降もよろしくお願いいたします。

山岸様：〃

石田様：担当になって半年。

3.施設見学

・3階（入所・病棟）→1階（相談・就労）→2階（受付・リハ科・訓練室）→ラポール

— 休憩：14時 - 14時10分 —

4.利用者代表あいさつ

（本人）今年6~10月まで入所。入所前後での変化ある。のんびりもできたし、職員の方の優しさが良かった。（現在通所）仕事復帰を目指している。

（家族）入所する前は何かできるのか正直分からなかった。できないだろうと思って手伝っていたが、入所後は「え！こんなこともできるの」と、できること色々あって驚いた。通所も電車・バス利用して一人で通所している。通所で料理も練習中。すごくありがたい場所と実感している。

5.障害者支援施設についての各種報告

施設概要+地域連携プログラムについて笹島施設長より説明

6.委員の皆様からのご意見・ご要望について

（松田様）施設紹介（10年前は詳細分からなかった）必要な人に必要な情報が届いているか（ミスマッチが起きている）。今はスマホ等で簡単に情報見られるが、アナログの人が置いていかれている現状。優しい福祉じゃない。アナログのツールも残しておくべき。若い人はスマホ活用できるが、高齢者等、使い切れない人もいる。取っ掛かりがあれば。

→（笹島施設長）広報が足りていないことは痛感している。必要な人に情報届いているか、常に模索している。

（松田様）必要性が出てきた時に一貫した物（情報ツール）がない。それを見たら分かる物があると良い。自分で知って（アンテナ張って）「自分は対象に当たるのでは」と発信しない限り、向こうから声掛けられることはない。（オープンデイのように）催し物があることによって、こういう場所があるんだと知れるいい機会に繋がる。

（宮原様）ケアマネの多くの対象者が高齢者。どちらかというとそちらが得意。障害サービス、高齢のサービス。地域連携の知識、今ケアマネに求められている。

地域でこのような素晴らしいカリキュラムがある。暮らしていくのは地域。地域で安心して暮らしていくために、地域の皆様にも知って頂く。ケアプラザでも、ガイドボランティアがどういう仕事なのかや小学校で福祉体験（車いす体験や視覚障碍の体験）する等し、地域にも知って頂く機会を作っている。色んな分野の人に障害理解に参画いただく。連携していければと思う。どうしても地域の人は何をやっているのかが分からない。防災訓練の時に寄っていただく等、地域の人にも参加してもらおう。敷居高く感じてしまう。当事者の話を聞く機会があると良い。

（松田様）民生委員やPTAの担い手少ない。民生委員は色々な形で情報発信している。自分の立場を知ってもらおうと呼び掛けをしている。

（宮原様）幸いにもこの地区は（民生委員）埋まっている。

→（笹島施設長）何かあれば出張し、施設紹介させて頂く。

（松田様）現在障害者週間。横浜そごうでイベントやる。ラポールの障害者団体が行くので、局長にラポール君作ってと頼んでいる（イメージキャラクターいると子ども寄ってくる）。マスコットいると興味持ってくれやすい。リハビリセンターにも作ってアピールしていくと良い。

→（笹島施設長）広報の課題あり。ケアマネの連絡会に参加させて頂く等していきたい。

（宇野様）入所の法定機関18ヶ月。施設が古い。色んなところを直している。利用者の方からすると常に何か修繕していると感じられているのでは。本日実際の話を池村さん・ご家族に聞けて良かった。実際に自分が家族になったと置き換えて考えてみると、施設で行った事を色々と教えて頂けること嬉しい。

（笹島施設長）回復期リハ期退院すると介護保険に繋がること大半。介護保険だけでなく、もう一アクションとして（当センター利用を）挟んでやれること増やしていけると良い。

（宮原様）在リハ機能を上手く使っていけると。ケアマネにも知って頂ければと思う。

7.閉会のあいさつ

次回の開催：令和8年11～12月（夏頃を目処に日程調整のご連絡）